

「適正な水道料金のあり方」に対する意見募集の実施結果について

提出 1 名 3 件

番号	ご意見	回答
1	立派な経営戦略を策定してサービスしてきたのであれば、何が問題になっているのか説明がほしい。	<p>近年の急激な社会情勢の変化による工事費や人件費などの高騰、大規模地震等の災害に備える耐震化の加速に要する費用増加は、避けられない現状にあります。</p> <p>その一方で、人口減少により、水道料金収入が減少しており、現行の料金体系のまま事業経営を継続した場合、当年度純利益は減少し、令和 10 年度には赤字経営となる見通しとなっていることから、水道料金の改定を行う必要があります。</p>
2	老朽化、耐震化とか人口減、節水などの問題は、建設当初に想定されていることです。想定に何が狂ったのですか。	番号 1 の回答と同じ
3	水道料金削減にどんな努力をしてきましたか。今後どんな対策を考えているのですか。	<p>平成 9 年の水道料金改定から 28 年間、職員人数の抑制と経費の節減に取り組んでまいりました。</p> <p>今後は、夜間流量の監視等により、漏水を早期に発見し、有収率の維持・向上に努めてまいります。</p>